

2024~27年PRI戦略計画



本資料は「PRI STRATEGY PLAN 2024-2027」の日本語参考訳です。
英文と和文で相違が生じている場合には、英語の原文が優先されます。

目次

| | |
|-------------------------------|-----------|
| はじめに（ボード議長および CEO より） | 3 |
| ミッション | 5 |
| - 私たちのミッション | 5 |
| - ミッションの実現 | 6 |
| - 署名機関のための価値の創出 | 7 |
| 戦略重点分野 | 8 |
| - 署名機関の進捗（プログレッション）の推進 | 9 |
| - 地域の責任投資エコシステムの強化 | 10 |
| - 協働イニシアチブのサポートと主導 | 11 |
| - 実現環境の強化 | 12 |
| 戦略実現要因 | 13 |
| - 人員と事業 | 13 |
| - 長期的な資金調達 | 13 |
| - 戦略リスク | 13 |
| - 戦略およびミッションに対するその貢献のモニタリング方法 | 14 |

はじめに (ボード議長およびCEOより)



Conor Kehoe
Chair, PRI Board



David Atkin
CEO, PRI

記念すべき PRI の新戦略の始動にあたり、ここに至るまでの署名機関の皆様との約 20 年にわたるジャーニー（旅路）、そして責任投資（RI）の未来に対する私たちのビジョンについて振り返ります。

私たちのミッションは依然として揺るぎません。経済的に効率の良い、持続可能な国際金融システムが長期的な価値の創出に必要であり、私たちのアプローチは引き続き署名機関を中心とし、6 つの責任投資原則を軸として展開していくべきであると考えています。将来を見据えた展望を通して責任投資を進めること、署名機関が自らの投資目標、目的および受託者責任と合致する責任投資戦略を採用できるよう支援することを目的としています。

約 20 年の進捗状況

過去 20 年間、PRI は投資家その他の市場関係者と協働して活気のあるグローバルな責任投資エコシステムの構築を促進してきました。この協働により以下の成果を上げました。

- **世界に広がる RI コミュニティ**：責任投資戦略は現在全世界の運用資産の 50% に及んでいます。
- **サステナビリティに関する慣行の統合**：投資家は利益の増大、責任投資目的の達成、リスクの低減に向けて幅広いサステナビリティ慣行を採用しています。
- **企業による採用**：投資家のスチュワードシップ活動により、企業が環境、社会、ガバナンス（ESG）の重要課題を自社のビジネス戦略、リスク管理や報告に組み入れる動きが広がりました。

- **金融市場におけるサステナビリティ改革**：企業および投資ファンドを対象としたサステナビリティ関連報告は、十分な情報が提供される（比較可能な一貫した重要情報が幅広く入手できる）市場の確保に向けて、主要経済大国では現在既に義務化されているか、近々義務化されるという状況です。

署名機関のニーズおよび共同設計

新戦略の始動に先立ち、署名機関の視点およびニーズを深く理解し、急速に発展している私たちを取り巻く環境を調べるため、18 か月以上にわたって意見を聞き、検討を重ね、グローバルでコンサルテーションが行われました。

コンサルテーションのプロセスを通して、署名機関は PRI に「ビッグ・テント」アプローチを維持してほしいと思っていますが、署名機関の責任投資の解釈はそれぞれのマナデート、地域その他の要因によって異なるとの認識をもっていることが分かりました。この「ビッグ・テント」において、PRI は多様な署名機関基盤を受け入れながら進捗（プログレッション）を支援する必要があります。

また、署名機関が、私たちの新しい戦略が新たな協働への参加につながることを期待していることも、回答から明らかになりました。署名機関は同業他社（ピア）比較やベンチマークを重視しており、プログレッション・パスウェイが構想から実行に移されることを強く望んでいます。また、PRI の政策活動が移行経済における責任投資改革を支援し、そのニーズに応えることを確実なものにしたいと考えています。私たちは PRI の新戦略が署名機関の取り組みおよび価値創出を実際に支援し、グローバルな責任投資を次のフェーズへと進め、PRI のオペレーショナル・エクセレンスを実現すると確信しています。

今後3年間で達成を目指す一連の組織 KPI を通じて、毎年進捗状況をモニタリングしていきます。さらに、システム指標のより広範な分析と、ミッション・リファレンス・ポイントで補完することで、私達が貢献し、すべての受益者と顧客により良い成果をもたらすことを可能にするグローバルな金融システムの変化を把握していきます。

今後3年間の新たな戦略とインパクト

戦略計画は次の4つの重点分野に焦点を合わせています。

- 1 PRIのレポートニング(必須)を合理化しつつ、署名機関によるRIの進捗を推進する
- 2 成熟市場と新興・発展途上国の両方で地域のRIエコシステムを強化する
- 3 協働イニシアチブをサポートし、主導することで、署名機関の影響力を拡大する
- 4 政府および多国間の政策、そして金融市場慣行に影響を及ぼすことで、RIを実現できる環境を強化する

RIの未来を共に実現

ここ数年間の私たちの取り組みにより、ミッションの実現および世界各地の署名機関の支援において、成功のための準備が整ったと確信しています。しかし、この業界の前途にはさらなる課題（既存のもの、浮上しつつあるもの、未知のもの）が待ち構えていることも承知しています。これには、気候変動や自然環境の悪化がマテリアリティの高いリスクとして引き続き認識されること、経済アウトカムの不平等性の拡大、そして世界的な社会・政治の不安定化などが含まれます。

また、この責任投資の転換点において、多くの署名機関および関係者がいらだち、疲れを感じていることも分かっています。しかし、私たちが協働を続けていけば、楽観的な状況が生まれます。私達が共に歩みを進めることで更に先に行き、PRIの新戦略が新しい困難な時代の推進力として私たちを後押ししてくれるでしょう。ですから、本日はすべての署名機関および関係者の皆様に対し、この重要なジャーニーの次の段階にPRIとともに進んでいただきたく、心からお願いいたします。

私たちのミッション

私たちは経済的に効率の良い、持続可能な国際金融システムが長期的な価値の創出に必要であると考えています。

こうしたシステムは、長期的な責任投資に報い、環境や社会全体に利益をもたらします。PRI は、本原則の採用およびその実施の協働を奨励すること、優良なガバナンス、誠実性、説明責任を促進すること、市場の慣行、構造および規制の中に存在する持続可能な金融システムにとっての障害に対応することで、この持続可能な国際金融システムの達成に尽力します。

6つの責任投資原則



- 1 私たちは、投資分析と意思決定のプロセスに ESG の課題を組み入れます。
- 2 私たちは、活動的な所有者となり所有方針と所有習慣に ESG の課題を組み入れます。
- 3 私たちは、投資対象の主体に対して ESG の課題について適切な開示を求めます。
- 4 私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるように働きかけを行います。
- 5 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働します。
- 6 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します。

PRI免責事項

本資料に含まれる情報は、情報提供のみを目的としたものであり、投資、法律、税務、その他のアドバイスを意図したものではありません。投資その他の意思決定を行う際に依拠することを意図したものではありません。すべてのコンテンツは、著者および発行者が法律、経済、投資、またはその他の専門的な問題やサービスに関する助言を提供するものではないことを理解した上で提供されています。PRI Association は、参照される可能性のあるウェブサイトや情報資源の内容については責任を負いません。これらのサイトへのアクセスまたはそのような情報資源の提供は、そこに含まれる情報を PRI Association が保証するものではありません。PRI Association は、誤記や脱落、この文書に記載された情報に基づいて行われた決定や行動、またはそのような決定や行動に起因する損失や損害について責任を負いません。すべての情報は「現状有姿」で提供され、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用から得られる結果について、明示または黙示を問わずいかなる保証も行いません。PRI Association が執筆したコンテンツについては、明示的に別段の記載がある場合を除

き、表明された意見、推奨、発見、解釈、結論は PRI Association 単独のものであり、必ずしも寄稿者または責任投資原則の署名者（個人または全体）の見解を表すものではありません。言及された他のいかなる組織も、記載された結論を支持または同意していると推論されるべきではありません。企業の事例を掲載することは、PRI Association または「責任投資原則」の署名機関がこれらの組織を支持することを意味するものではありません。PRI Association は、信頼できる最新の情報源から情報を入手するよう努めていますが、統計、法律、規則、規制の変化により、情報の遅れ、漏れ、不正確さが生じる可能性があります。第三者によって作成されたコンテンツについて、外部寄稿者によって提供されたコンテンツの正確性は、当該外部寄稿者の責任となります。外部寄稿者によって提供されたコンテンツで表明された見解は、外部寄稿者のみのものであり、著者として記載された外部寄稿者以外の PRI Association または責任投資原則の署名者の見解を支持するものでも、必ずしも一致するものでもありません。

ミッションの実現

新戦略には、2つの包括的な目的があります。ひとつは、急速に進化する責任投資環境において署名機関に最大限の価値を提供すること、もうひとつは、署名機関を支援し、持続可能な国際金融システムを達成する上で有意義な役割を果たせるようにすることです。

これらの目的は、最も大きな影響力を持つ世界最大の責任投資組織である PRI が単独行動を取ってはならないという私たちの信念を反映しています。私たちは署名機関、ならびにその他のネットワーク、金融システムのアクター（参加者）、政策立案者、多国間組織、その他のステークホルダーと連携して、長期的な責任投資に報いる金融システムを最終的に構築する必要があります。

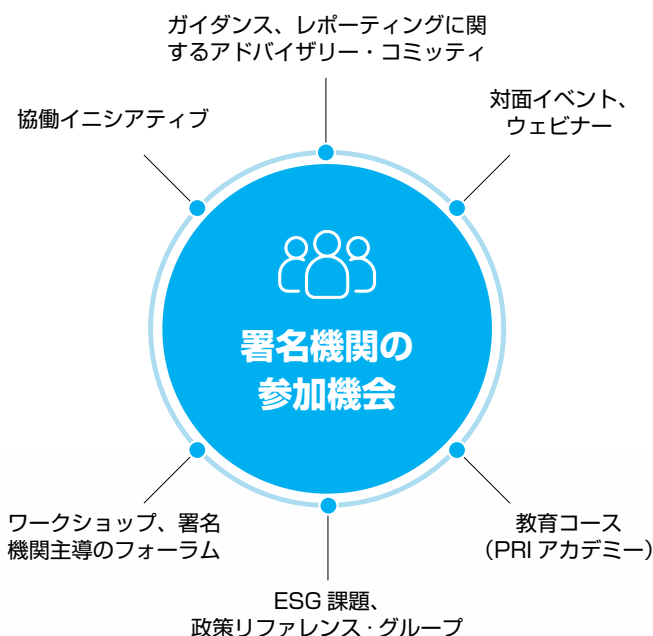
署名機関のための価値の創出

PRIは投資家のために投資家によって設立されました。私たちにはグローバルな展開力、様々な規制環境での運営についての幅広い経験、投資家が責任投資慣行を進めることを支援するための深い市場知識があります。

PRIの6つの責任投資原則は、ESG課題の組み入れに向けて実践可能な行動のメニューを提供しています。私たちは幅広い統合されたアプローチを通して戦略的かつ目的意識を持って署名機関を支援します。

- 署名機関による本原則の効果的な実施およびそれぞれの責任投資慣行の進展に役立つガイダンス、教育、リソースを提供します。
- 署名機関のレポートを支援することで、署名機関が自らの実行状況をベンチマークし、前進し続けられるようにします。
- 持続可能な金融システムおよび責任投資慣行を支援する政策を推奨するため、政策立案者や規制当局に対してエンゲージメントを行います。
- 署名機関には、同業他社との協働、アイデアの共有、RIの課題への取り組みへの参加を呼びかけています。
- RIに関連する取り組みをグローバルに拡大するため、適切な人員を主要地域に配置し、その地域および専門性を持っている他のRI組織と連携しています。
- 署名機関が前進できるよう新たな方法の確立に取り組んでいます。プログレッション・パスウェイは、個々の投資の目的、マナデート、規制状況に応じて責任投資慣行を確立するRIのジャーニーにおいて、様々な局面にある署名機関を手助けすべく、サポート、ガイダンス、リソースを提供します。

署名機関の参加機会



私たちのミッションを実現するため、署名機関との連携を続けていきます。以下の4つの戦略重点分野は、署名機関が地域およびグローバルで自己の目標の実現のために利用できるツールやサービスを私たちがどのように計画しているか、そしてPRIのミッションの重要な次のステップを遂行するために私たちがどのように尽力しているかを示しています。署名機関と連携することで、長期的な価値の創出、十分に機能する市場、サステナビリティ・アウトカムをRIが引き続き後押ししていくことを確実なものにすることができます。

これは重要な点ですが、本書はPRIの戦略計画をまとめたものです。本書は署名機関の意見をもとに作成されていますが、必ずしもPRI署名機関（個別または全体として）の見解を表すものではないことにご注意ください。本戦略計画は署名機関を拘束するものでも、独自の受託者としての各自の義務の制限またはそのような義務との対立を図るものでもありません。私たちは、署名機関が自らの受益者とクライアントの最善の長期的利益のため、自らの義務に応じて独自のRI戦略を立てることを奨励しています。

戰略重点分野



01. 署名機関の進捗(プログレッション)の推進

PRI のレポーティング (必須) を合理化しつつ、署名機関による RI の進捗を推進する

署名機関が PRI の 6 つの責任投資原則の実施を有意義に進めることを推進・支援することが私たちの取り組みおよびミッションの中心になっています。しかし、グローバル RI エコシステムが成長するにつれ、責任投資家は RI の目的や成熟度の面でますます多様になってきています。

この多様性を考慮するため、署名機関との共同設計プロセスに続き、2025 年には、署名機関が自らの RI アプローチを進めるための新たな方法を導入します。プログレッション・パスウェイは、個々の投資の目的、マニフェスト、規制に応じ、責任投資慣行を確立する RI のジャーニーにおいて、様々なステージにある署名機関を手助けすべく、サポート、ガイダンス、リソースを提供し、いずれは同業他社と比較する有意義なベンチマークを提供可能にします。プログレッション・パスウェイの詳細は[こちら](#)で確認できます。

合理化されたレポーティングと評価のプロセスにより、署名機関は 6 つの原則をどのように実施したかを示しやすくなるでしょう。今後 3 年間、私たちのアプローチでは法域および組織全体で同等の報告フレームワークを認めるための措置が取られることとなります。これには署名機関が負っている既存の報告義務を特定し、それらを使って PRI レポーティングと評価およびプログレッション・パスウェイに対するアプローチを形作る必要があります。

プログレッション・パスウェイにより、署名機関は自らの受益者、クライアントおよびそれぞれの組織に関する有意義な方法で RI 慣行を進められるようになる一方、合理化されたレポーティングにより、労力が軽減され、署名機関は人的なリソースを責任投資の進捗に向けられるようになります。

目的

署名機関および地域や規制のフレームワークにおける RI 目的およびビジネス・モデルの多様性を認識するプログレッション・パスウェイを導入する事で、署名機関の RI 目的達成を支援する。

PRI によるきめ細やかなサポート、ガイダンスおよびリソースを充実させることで、署名機関の対応力を構築し、RI 慣行を進展させる。

レポーティングと評価のプロセスを合理化することで、PRI レポーティングに必要な署名機関の労力を軽減しつつ、6 つの原則に関連する説明責任は保持する。

2024~27年の組織目標

署名機関の AUM の 50% が 1 つ以上のパスウェイに参加する。

署名機関の AUM の 3 分の 1 以上が ESG 要因を組み入れるパスウェイおよびサステナビリティに関連するファイナンシャル・リスクの変動要因に対処するというパスウェイに参加する。

02. 地域の責任投資(RI)エコシステムの強化

成熟市場と新興・発展途上国の両地域のエコシステムを強化する

持続可能な金融システムに向けた行動には、世界レベルと地域レベルの両面からの取り組みが必要です。地域での私たちの取り組みは、署名機関が地域レベルで行動し、システムの変革に影響を与え、市場と効果的な関わりをもてるよう、署名機関の進捗を後押しし、それを望む署名機関のための場を作ることです。世界中の市場で活発な責任投資(RI)エコシステムの構築に尽力しつつ、署名機関のニーズによりよく応えるため、引き続き署名機関と緊密に連携していきます。

私たちは、以下の活動により、今後も私たちのグローバルな立場、専門知識およびネットワークを活用し、地域のRIエコシステムの支援・育成に取り組んでいきます。(1) 署名機関およびステークホルダーに、地域エコシステム内およびエコシステム間の両方で、コミュニティ・オブ・プラクティスを通じて集まる機会を提供します。(2) RIの進捗において署名機関を同業他社との連携、リソース、助言を通じて支援をします。(3) エコシステム内の有意義な政策アウトリーチをサポートします。エコシステム内および複数のエコシステム間で署名機関と連携する適切な人員を主要地域の現場に配置し、ベスト・プラクティスの共有、協働作業、また、責任投資の実践の進展に向けた支援の機会を拡大します。

必要に応じて、現地のSIFその他の団体などネットワーク・パートナーにPRIとの協働を要請し、労力の重複を削減してお互いの取り組みを拡大します。

もうひとつの重要な進展は、新興市場において戦略的に私たちの存在感を高め、私たちの取り組みの関連性を向上させることです。サステナビリティの優先事項とシステム全体のリスクにおける新興市場の重要度が現在そして将来も増していることを受け、このような措置を講じています。新興市場の投資家と先進市場の投資家の間でコミュニケーションの掛け橋的な役割を果たして、新興市場における責任投資を支援していきます。既に46か国にわたる640以上の新興市場署名機関と連携し、AUMは約12.4兆米ドルとなっています。私たちがこれらの地域で取り組みを拡大することで、世界の投資家が直面する課題についての全体的な理解が深まり、持続可能な国際金融システムの実

現に向けた協働的かつ生産的な活動の道筋が見えてきます。特に東南アジアや中南米、サハラ以南のアフリカ、中東、インドに注力していきます。

署名機関は充実した連携、ベスト・プラクティスの促進、学習機会の提供となる幅広いネットワークで協働する機会を得ることになり、こうした場ではより一層地域の影響力が重視されます。

目的

地域のRIエコシステムを支援・育成することで、RIの進展の主流化・加速を継続する。

新興市場におけるプレゼンスを高め、持続可能な金融システムへのグローバルな移行にそれらの市場を参加させる一方で、成熟したRIエコシステムへのサポートを維持する。

地域および専門性のあるRI組織と連携し、世界中の署名機関に関連性のある取り組みに重点を置く。

2024~27年の組織目標

署名機関の基盤をさらに10兆~20兆米ドルAUMに拡大する。

03. 協働イニシアチブのサポートと主導

協働イニシアチブをサポートし、主導することで、署名機関の影響力を拡大する

署名機関やステークホルダーに、投資家の義務やマネジメントと一致する協働の機会を提供することは、変化する金融市場、RIの主流化、投資先企業の行動への影響において重要な役割を果たします。

署名機関からの強い要望に従って、私たちは引き続き、署名機関に協働するよう呼びかけます。これは、PRIが主導やサポートするステewardシップ、目標設定、ピア・ラーニングの投資家イニシアチブのほか、ESG課題に対する署名機関の影響力を強めるために連携・協働する独自のフォーラムを投資家に提供するPRI Collaboration Platformを通して行われます。私たちはこれらの機会およびその影響力を、PRI署名機関がPRI主導のステewardシップ・イニシアチブを通してエンゲージメントを行う対象組織の数を増やすことで、さらに拡大します。気候変動、人権、責任ある労働慣行、自然環境を優先すべきESG課題として引き続き重視し、これらの分野における先進的な取り組みを、PRIの調査、分析、リーダーシップ、政策推進のために情報を提供し、またそれらから情報を得ることになります。

協働イニシアチブへの参加は、署名機関が顧客や受益者の長期的な価値を保護かつ向上させ、システミックな課題に対処し、コミットメントと進捗を実証し、他の責任投資家から学び、投資先企業や政策立案者、その他のステークホルダーと協働でエンゲージメントを行う機会を生み出します。また、経験豊富な署名機関に対しては、協働を通して進捗を模索、確立、推進する機会も提供します。

署名機関には次に挙げるような既存および新規のPRI主導やPRIがサポートするイニシアチブを通して協働する機会があります。

- [Net-Zero Asset Owner Alliance](#)
- [Net Zero Asset Managers Initiative](#)
- [Net Zero Investment Consultants Initiative](#)
- [Net Zero Financial Service Providers Alliance](#)
- [Initiative Climat International \(iCI\)](#)

- [Climate Engagement Canada \(CEC\)](#)
- [China Climate Engagement Initiative \(CCEI\)](#)
- [Climate Action 100+](#)
- [Collaborative Sovereign Engagement on Climate Change](#)
- [Advance](#) および [Spring](#)

目的

PRI 主導および協働主導イニシアチブを通して協働の機会を提供することで、署名機関の影響力を拡大する。

署名機関が投資家主導のイニシアチブや協働の機会を活用できるようサポートする。

金融リスクを軽減し、長期的な価値創出を最大化し、資本配分に関して署名機関の独立した意思決定を形成し、競争促進的な市場慣行を奨励するため、署名機関がサステナビリティに関するパフォーマンスについて企業・発行体にエンゲージメントを行うことを支援する。

2024~27年の組織目標

PRI 独自での主導、共同主導またはサポートするイニシアチブに参画している署名機関のAUMを維持する（全関連イニシアチブでの合計）。

PRI 主導または共同主導、PRI がサポートするイニシアチブに参画し、Collaboration Platform を利用している署名機関の数を維持する。

PRI 署名機関がPRI 主導のステewardシップ・イニシアチブを通してエンゲージメントを行う対象組織の数を増やす。

投資家は自己の投資、議決権行使に関する意思決定に対して責任を負う独立した受託者であり、戦略、方針および慣行の設定にあたっては適用されるすべての法令（受託者・投資家責任を含む）に従って常に自主的な行動を取る必要があります。個々の署名機関はそれぞれ、PRI 主導またはサポートするイニシアチブへの継続的な参加に関し、自主的な判断を行っています。

04. 実現環境の強化

政府および多国間の政策、そして金融市場慣行に影響を及ぼすことで、RIを実現できる環境を強化する

すべての投資家は、責任投資に係る政策および規制環境の恩恵を受けています。グローバル RI エコシステムは過去10年間で急速に成熟してきた一方で、主要な RI 慣行の恩恵を得るためには、政策および金融市場の改革がいまだ必要とされています。署名機関はこれを RI への取り組みにおける優先分野と位置付けています。

PRI は、グローバルな経験と、責任投資に関する政策対話に関与する政策立案者や署名機関に提供できる技術的アドバイスにより、改革を進展させるのに適した立場にあります。まだ経験の浅い責任投資家に対しても、経験豊富な責任投資家に対しても、RI 目標の達成に不可欠なシステム全体での変化をサポートし、主導します。私たちは PRI の責任投資原則およびミッションに従い、長期的な価値の創出を促進するため、署名機関と足並みを揃え、異なる市場には異なる優先順位があることを認識した上で政策提言に貢献します。

このため、私たちは主要な政策や規制の策定に関して署名機関と緊密に連携していきます。署名機関とのこれまでの経験を、政策立案者、規制当局およびその他システム・アクターとの取り組みに活かして、透明性のある市場を確立し、政策、規制のフレームワークおよび市場構造をサステナビリティ・アウトカムに合致させます。また、ソート・リーダーシップの提供を通して、システムの変革を推し進め、ESG 課題についての専門知識、プログレッション・パスウェイおよび世界的な政策エンゲージメントなどの署名機関向けサービスをサポートします。

また、政府および多国間での政策立案（金融規制や経済政策を含む）、気候変動に関する国際連合枠組条約（UNFCCC）や OECD、ISSB といったフォーラムやイニシアチブにも影響を与えるよう、署名機関のエンゲージメントを支援します。この取り組みでは、PRI 主導のディスカッション・ペーパーやステートメントから、同じ考えをもつ署名機関が自らの名義で語れるようにするステートメントまで、署名機関に様々なエンゲージメントの手段を提供します。

目的

政策立案者や金融システム・アクターに対してエンゲージメントを行うことで、RI 政策と慣行を調和させ、進展させる。

署名機関を支援し、主要な RI 政策や規制の策定に関して有意義な貢献をする。

2024~27年の組織目標

15の重点市場において政策立案者や規制当局との間で、政治的な立場や影響力のある関係を築く。

2027年までに署名機関の50%以上が自らのRIエコシステムにおいてサステナブル・ファイナンス政策改革を積極的に支持する。

戦略の実現要因

人員と運営

私たちの戦略を達成させるには、職員が業務に打ち込み、最善を尽くす意欲をもち、インクルーシブな文化の中で仕事ができ、システムや業務のプロセス、手順、方針、専門知識によってサポートされ、優れた成果を生み出せる組織運営が必要です。

私たちは、優れたリーダーシップの実践を浸透させ、企業文化と意識を高め、新しい業務モデルの導入を継続し、戦略を実現するための能力（スキルと専門知識）を構築することで、未来の組織を作り続けていきます。

また、リスク管理および運営効率の改善も行い、サステナブルな PRI 運営モデルに必要なシステムやリソースに投資することで、将来の課題に対応し、署名機関のためのプログレッション・パスウェイを実現する体勢を整えます。

今後も人員の地理的な配置を拡大し、私たちの組織が署名機関の多様性を反映し、PRI の人員が市場の署名機関にとってもっと身近な存在になるよう取り組みます。地域の RI マネージャーに加え、米国を拠点とするエグゼクティブ・チーム・メンバーを初めて採用しました。また、私たちの署名機関サポート・サービスを地域に拡大し、現地の政策、スチュワードシップ・イニシアチブの担当者を配置しました。今後 3 年間、地域市場への人員配置機会をさらに求めています。

長期的な資金調達

私たちが署名機関をサポートするために受け取る資金の大部分は署名機関からの会費です。私たちの戦略を実行し、署名機関のための価値を創出しつつ、会費をできる限り低く抑えるよう努めます。インフレを上回る会費の大幅な調整を最後に行ったのは 10 年近く前です。それ以来、急速に変化し、速いペースで成熟化する RI 環境のニーズにさらに対応できるよう事業を拡大してきました。また、2019 年と比べほぼ倍増している署名機関の基盤への提供価値を高めるため、運営上の大幅な変更も行いました。

2024 年、私たちは大半の署名機関に対し、値上げを行いました。また、コンサルテーション実施後、最大規模のアセット・オーナーおよびインベストメント・マネージャーに対しては、より高い会費区分を導入しました。これにより、戦略を実行するための中長期の投資が可能になります。

また、署名機関の会費が、多様な署名機関の基盤全体により平等に分散され、署名機関の規模に比例したものになっています。アセット・オーナーとインベストメント・マネージャーの署名機関会費について、2025 年にインフレ・レベルを超える値上げをする予定はありません。

運営環境が変化しているということは、最大の価値を署名機関に提供しながら将来の財務的持続可能性を実現する最良の方法を今考えなければならないということです。私たちの影響力を最大化し、署名機関の会費を最大限に有効活用するため、私たちはより広範な資金調達モデルについても考えはじめています。この中には、ピア組織資金調達モデルの再調査（PRI の現在の会費は、調査対象コホートの中位レベルに位置します）およびグラント、投資家教育、イベント、提携その他のサービスからの収入の見直しが含まれます。

署名機関に基盤を置いた組織として、私たちの運営モデルの形成および私たちが共有する目的の達成には、この道に関する署名機関からの意見が絶対不可欠です。将来の資金調達モデルについては、様々なフォーラムを通して署名機関と対話を続けていきます。

戦略リスク

本戦略の策定中、戦略に影響する可能性のあるリスクについて見直しました。検討したのは、私たちの組織にとって最も重大である戦略リスク、規制リスク、法的リスク、オペレーション・リスク、技術的リスク、財務および人的リスクです。ボードは組織全体で適切な管理や軽減措置が実施されていることを確認するため、PRI のリスクの監督、モニタリングを行います。また、リスクは年 1 回行われる戦略の見直しの一環として評価されます。

進捗に関するモニタリング

戦略およびそのミッションに対する貢献のモニタリング方法

戦略をモニタリングするため、組織目標に照らした実績の追跡ならびにミッションの達成に向けて金融システムおよび経済における進捗の追跡を行います。次のとおり、3つのレベルで PRI の目標、指標およびリファレンス・ポイントを特定しました。

- PRI の組織目標 - ミッションに貢献し、署名機関の RI 活動を支援する PRI の活動の結果

組織目標の目的は、私たちの活動の効果を測定することです。目標は PRI のミッションに合致し、PRI とその署名機関が責任投資慣行に対して最大の影響力を発揮できる分野に設定されます。

- システム指標 - PRI およびその他のアクターが貢献する国際金融システムの変化であり、システム・リスクに対処し、最終的に受益者とクライアントのためのアウトカムを向上させます。

- ミッション・リファレンス・ポイント - すべての受益者とクライアントのためのより良いアウトカムを実現する、世界での変化

システム指標およびミッション・リファレンス・ポイントは、関連要因としてモニタリングするつもりですが、関係する正確なデータが入手できるかによって調整が必要になることもあります。システム指標およびミッション・リファレンス・ポイントの目的は、持続可能な金融システムの達成に対する私たちの活動の貢献度を理解し、署名機関のすべてのクライアントと受益者のためにより良いアウトカムを実現することです。これらは PRI ミッションにおける進捗の有無についてのフィードバック・ループを提供します。PRI の活動により生じる金融システムの変化は、変化全体の一部にすぎず、間接的であることも多いことは認識しています。成功を収められるかどうかは、(それぞれ独自の目標をもつ) 署名機関、その他の責任投資やサステナビリティ・ネットワーク、金融システム・アクター、政策立案者、多国間組織など、幅広いアクターの協力が必要となります。

表 1 : PRI の組織目標、システム指標およびミッション・リファレンス・ポイント

組織目標 - システム・アウトカムおよびインパクトに貢献する PRI の活動の直接的な結果

指標と目標

| | |
|------------|--|
| 1. 署名機関の進捗 | AUM の 50% が 1 つ以上のパスウェイに参加する * AUM の 3 分の 1 以上が A、B それぞれに参加する |
| 2. RI の主流化 | AUM を 10 ~ 20 兆米ドル増やして署名機関の基盤を拡大する |

| | |
|-------------------------|---|
| 3. 協働の支援 | <ul style="list-style-type: none"> • 個々の PRI 主導、共同主導またはサポートするイニシアチブに参画している署名機関の AUM を維持する（全関連イニシアチブでの合計） • PRI 主導または共同主導、PRI がサポートするイニシアチブに参画し、Collaboration Platform を利用している署名機関の数を維持する • PRI 署名機関が PRI 主導スチュワードシップ・イニシアチブを通してエンゲージメントを行う対象組織の数を増やす |
| 4. 政策および市場の変化への影響 | 15 の重点市場において政策立案者や規制当局との間で、政治的な立場や影響力のある関係を築く |
| 5. アドボカシーおよびエンゲージメントの支援 | 2027 年までに署名機関の 50% 以上が自らの RI エコシステムにおいてサステナブル・ファイナンス政策改革を積極的に支持する |
| 6. 署名機関の価値 | 80% 以上の署名機関が PRI の提供サービスに満足または非常に満足する |

システム指標 - PRI の活動の結果だけでなく、PRI とその他のアクターの取り組みにも依存

指標

| | |
|--------------------|--|
| 1. 資本配分および市場慣行への影響 | <ul style="list-style-type: none"> • 気候ファイナンスに向かう流れ • 生物多様性ファイナンスに向かう流れ • 気候、自然および人権・SDGs に関するイニシアチブにコミットしている投資家の数 • 気候、自然および人権に対して最大の影響力を有する企業のパフォーマンスの改善 |
| 2. RI のための環境の実現 | <ul style="list-style-type: none"> • 責任投資およびサステナビリティ・アウトカムを実現する政策、規制および基準のカバー範囲を評価し、重点市場の法律および市場状況を反映するスコアカード • 独立性を維持しながら世界のサステナビリティ目標達成に向けて意図およびベスト・プラクティスが一致している金融アクターの数 |

ミッション・リファレンス・ポイント - PRI の活動や説明責任に直接関係していないが、PRI や他者の行動の最終結果であるもの

指標

| | |
|---------------------|--|
| 1. プラネタリー・バウンダリーの維持 | 9 項目のプラネタリー・バウンダリーにおける変化率 |
| 2. 持続可能な開発および人権の尊重 | 17 個の SDGs における 169 の目標（うち 138 は「評価可能」）の進捗 |
| 3. より平等な社会の実現 | 一国内および国家間の不平等 |

責任投資原則 (PRI) イニシアチブ

PRIは、6つの責任投資原則を実行に移すため、自らの国際的な署名機関ネットワークと連携しています。PRIの目的は、環境、社会、ガバナンス (ESG) 課題が投資に与える影響を理解し、署名機関がこれらの課題を投資やオーナーシップの意思決定に統合する支援をすることです。PRIは、署名機関およびこれらの署名機関が活動する金融市場・経済、そして、最終的には、環境および社会全体の長期的な利益につながる行動をとっています。

6つの責任投資原則は、自主的かつ意欲的な一連の投資原則であり、ESG課題を投資慣行に組み込むための潜在的な行動のメニューを提供しています。本原則は、投資家のために投資家により策定されました。本原則を実施していく中で、署名機関は、より持続可能なグローバル金融システムの開発に貢献しています。

詳細について：www.unpri.org

PRIは国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP Finance Initiative) と国連グローバル・コンパクト (UN Global Compact) と連携した投資家イニシアティブです。



国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI)

UNEP FIは、国連環境計画 (UNEP) とグローバル金融部門のユニークなパートナーシップです。UNEP FIは、持続可能性と金融パフォーマンスを連結し、発展させるため、持続可能な開発に関する UNEP FI の声明に署名している 200 以上の金融機関やさまざまなパートナー組織と協力しています。同業者ネットワーク、調査および研修を通して、UNEP FIは、金融機関業務のあらゆるレベルにおいて、環境・持続可能性のための最善の慣行の適用を特定、促進、実現するという使命を果たしています。

詳細について：www.unepfi.org



国連グローバルコンパクト

国際連合グローバル・コンパクトは、世界各国の企業に対して、それぞれの業務および戦略を、人権、労働、環境および腐敗防止の分野で一般に受け入れられている 10 の原則に従うよう、また、国連の目標および持続可能な発展の目標を支持する行動を取るよう、呼びかけています。国連グローバル・コンパクトは、責任ある企業活動の開発、実施および開示のためのリーダーシップ・プラットフォームです。2000年に始まったこの取り組みは、企業の持続可能性イニシアティブでは世界最大であり、160か国、8,800を超える企業、4,000以上の企業以外の団体、80以上のローカル・ネットワークが参加しています。

詳細について：www.unglobalcompact.org